
ムラクモ機関の主力部隊十三班の休日

めたるみーと。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ムラクモ機関の主力部隊十三班の休日

【Nコード】

N9006Z

【作者名】

めたるみーと。

【あらすじ】

とあるムラクモ機関の主力部隊である十三班の休日のだらけた一時。

「……………暇だな。」

「ああ、待機してるとか言われたけど……………暇にもほどがある。」

「なアんかねエのか？」

「退屈過ぎンぞ。」

「んー……………どつかダンジョンでも行くか？」

俺の“蒼の魔導書”が火を吹くぜ？」

「黙れチートサムライ。」

常にライフ吸収攻撃とか舐めてンですかア？あアン？

血液逆流すンぞコラ。」

「うっせーよチートハッカー。」

なんだよベクトルをハッキングって。

ベクトル操作ってなんなんだよ。

お前が傷ついたとこ今まで長い付き合いだけどみたことねーぞ。

「あれが俺のマッドストライフww」

「黙れ。」

「あ、二人共御飯できたよ。」

「食べよ？」

「……………。」

「な、何？」

「エプロンG」

「素晴らしい」

「？」

「さて、いくか。」

「ああ、とりあえず飯食ったら残党ドラゴン狩りにでもいくかア。」

「あ、私も私も！」

「……チートサイキッカーがいらっしやいましたけども？」

「雷系で池袋の帝龍の電力に勝ってその雷を杖を核に剣にして切り刻んだ雷光さんのお通りだ。」

「図が高エ。」

『お褒めに預かり光悦至極。』

「え？何か褒められたの？」

「良かったねバルディッシュ。」

「ってかサイキッカーって時点で火と氷が使えないってどうなんだ？フエイト。」

「ま、それ以外は化け物だしいいんじゃないねエの？」

「そんなもんかアクセラ？」

「そんなもんだラグナ。」

「ラグナ、アクセラ？」

「早くしないと冷めちゃうよ？」

『Harry up』

「「あーいよ。あー。」」

(後書き)

思い付きです。
ごめんなさい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9006z/>

ムラクモ機関の主力部隊十三班の休日

2011年12月28日09時48分発行